

# 障害者が住み良い社会に

## 奈良障害フォーラム 県内41団体加盟し発足

県内の幅広い障害者  
関係団体が集まるネット  
ワーク組織「奈良障  
害フォーラム」(ND  
F) (玉村公彦代  
表) が31日、41団体が  
加盟して発足した。奈  
良市高畑町の奈良教育  
大学付属小学校で結成  
総会と記念シンポジウ  
ムが開かれ、「障害者  
権利条約」を地域の  
すみずみまで行き渡ら  
せ、障害のある人たち  
の権利保障を進めよ  
う、「障害があっても  
なくても、誰もが安心  
して暮らせる社会をつ  
くっていく」とスピー  
ルした。



県内障害者関係団体のネットワーク組織として発足した「奈良障害フォーラム」の結成シンポ＝31日、奈良市高畑町の奈良教育大学付属小学校。

ND Fは、県内の障  
害者関連団体が集まっ  
て平成23年から毎年開  
催してきた会合「障害  
者の制度改革を推進す  
る地域フォーラム・奈  
良」を恒常的な組織に  
しようと結成された。  
総会と記念シンポジウ  
ムには会員団体、入会  
を考える団体の関係者  
や一般市民ら約90人が  
参加した。

シンポジウムの目  
頭、藤井正紀副代表は  
「障害者は多様で、全  
員に行き届くことをす  
るのは困難。まずお互  
いを知り、一番苦勞し  
ている方に心を寄せて  
いくことが大切」とあ  
いさつ。続いて県障害  
者施策推進協議会長、  
障害者に関する条例に  
関わる検討委員会座長  
を務める八木三郎・天  
理大学准教授が「障害  
者の権利条約に批准し  
た我が国の課題と展  
望」をテーマに基調講  
演した。

八木准教授は「世界  
のあらゆる地域、あら  
ゆる社会階層に障害の  
ある人はいる。障害は  
特殊なことではない  
が、日本は特殊なもの、  
家族の問題としてきた  
歴史がある」と日本人  
の「障害観」について  
解説。「国連の力で画  
期的な法律や条例がで  
きて、いかに地域に

土着化させるかが課  
題。土着化するには当  
事者の力が必要」と語  
った。  
続いて県健康福祉部  
の江南政治部長が「県  
の障害福祉政策につい  
て」と題し、平成27年  
度から始まる「県障害  
者計画」と今年2月の  
県議会に上程される

「(仮称) 障害のある  
人もない人もともに暮  
らしやすい社会をつく  
る奈良県条例」の進捗  
(しんちよく) 状況を  
説明した。  
ND Fは会員間の情  
報交換、活動交流を活  
動の柱として、シンポ  
ジウムと勉強会をそれ  
ぞれ年1回開催する計

画。将来的には県内障  
害者の白書作りも目指  
す。会員(団体・個人、  
年会費2千円)と賛助  
会員(個人、年会費1  
千円)を募っており、  
問い合わせは、きょう  
されん奈良支部内のN  
D F事務局、電話08  
0(1424) 931  
5。